

開発課題 1-2 (小目標) 地域活性化	【現状と課題】 グアテマラでは、国民の50.58%が地方の農村地域に在住しており、そのうち53.8%は農業に従事しているが、農村地帯の住民の76.1%は貧困層に属する（国立統計院、2014）。また、全国における中小零細企業の割合が、全企業のうち99.66%を占める（国立統計院、2017年）。こうした状況において格差の是正や持続的経済成長を進めるためには、特に貧困層の多い農村地域における農業生産性向上や中小企業振興による貧困層の所得の向上が必要である。また、農村地域の経済活動において、貧困地域のアクセス道路の整備が課題となっている。		【開発課題への対応方針】 貧困層の生計維持・向上を目標として、農業生産性向上及び中小零細企業の生産・販売活動への支援を行う。また、先住民・貧困層の多い和平地域における道路を整備し、経済・社会サービスへのアクセス改善による生計維持・向上を図る。 上記方針を通じて、SDGs 2（飢餓）、8（経済成長と雇用）、9（イノベーション）、10（不平等）、12（持続可能な消費と生産）等の達成に貢献する。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	地域活性化プログラム	農村地域における経済活動を活性化すべく、農業生産性の向上及び中小零細企業の振興を支援する。また、先住民・貧困層の多い和平地域における道路を整備し、経済・社会サービスへのアクセス改善による生計維持・向上を図る。	和平地域道路整備計画(II)	有償	2019年度以前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	99.39	
			中小企業の品質・生産性向上に係るファシリテーター能力向上プロジェクト第2フェーズ	技プロ								
			ティカル国立公園への観光回廊における人材育成と組織化支援プロジェクト	草の根技協								
			地域活性化分野の課題別研修、青年研修	課題別研修他								
			生産分野のJICA海外協力隊派遣	JOCV								
持続的な経済開発・地域統合のための中米地域物流ロジスティックス開発マスタープラン策定支援プロジェクト			開発計画								3.6 (6か国計)	SICA加盟国のうち6か国を対象
重点分野2 (中目標)	環境・防災											
開発課題 2-2 (小目標) 環境・防災	【現状と課題】 グアテマラは、地理・地形的観点から自然災害に対する潜在的リスクが高く、ドイツのNGO「Germanwatch」が発表した気候変動リスク報告書（2019）によれば、過去20年間で気候変動の影響を最も大きく受けた国の一つとされている。主な災害は地すべり、ハリケーン、火山噴火などであるが、近年は特に気候変動の影響による洪水、土砂災害が多発しており、自然災害に対する脆弱性の改善が持続的発展の観点から大きな課題となっている。また、環境面では、不適切な衛生処理や廃棄物処理への取組、生物多様性の保全が課題となっている。		【開発課題への対応方針】 防災対策に関しては、頻発する自然災害に対する脆弱性に留意し、これまでに我が国が支援してきた火山地域を中心としたコミュニティ防災、災害発生時の対応、防災インフラ整備、及び防災人材育成等に関する支援を行う。また、環境保全に資する協力として、不適切な衛生処理や廃棄物処理に関する意識向上の取組、生物多様性の保全に関する取組を行う。 上記方針を通じて、SDGs 11（持続可能な都市）、12（持続可能な消費と生産）、13（気候変動）、15（陸上資源）、17（実施手段）等の達成に貢献する。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	環境と防災対策の推進プログラム	防災分野では、コミュニティ防災、災害発生時の対応、防災インフラ整備、及び防災人材育成等に関する支援を行う。また、環境保全に資する協力として、水質汚濁や廃棄物処理に関する環境意識向上の取組、生物多様性保全の取組を行う。	中米広域防災能力向上プロジェクトフェーズ2	技プロ	2019年度以前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	9.5 (6か国計)	広域（エルサルバドル、コスタリカ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ）
			環境と防災分野の課題別研修	課題別研修他								
			環境分野のJICA海外協力隊派遣	JOCV								
SICA地域における生物多様性の統合的管理と保全に関する能力強化プロジェクト			技プロ								5.00 (8か国計)	SICA加盟全8か国を対象

その他 個別の案件	その他												
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度			
			コミュニティ警察の普及を通じた警察人材育成プロジェクト	技プロ	■								三角協力 (JBPP)
			その他分野のJICA海外協力隊派遣	JOCV	■	■							

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「国別研修」(＝課題別研修他) (＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術) (＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(＝水産無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線」(＝実施期間)、「破線」(＝実施予定期間)